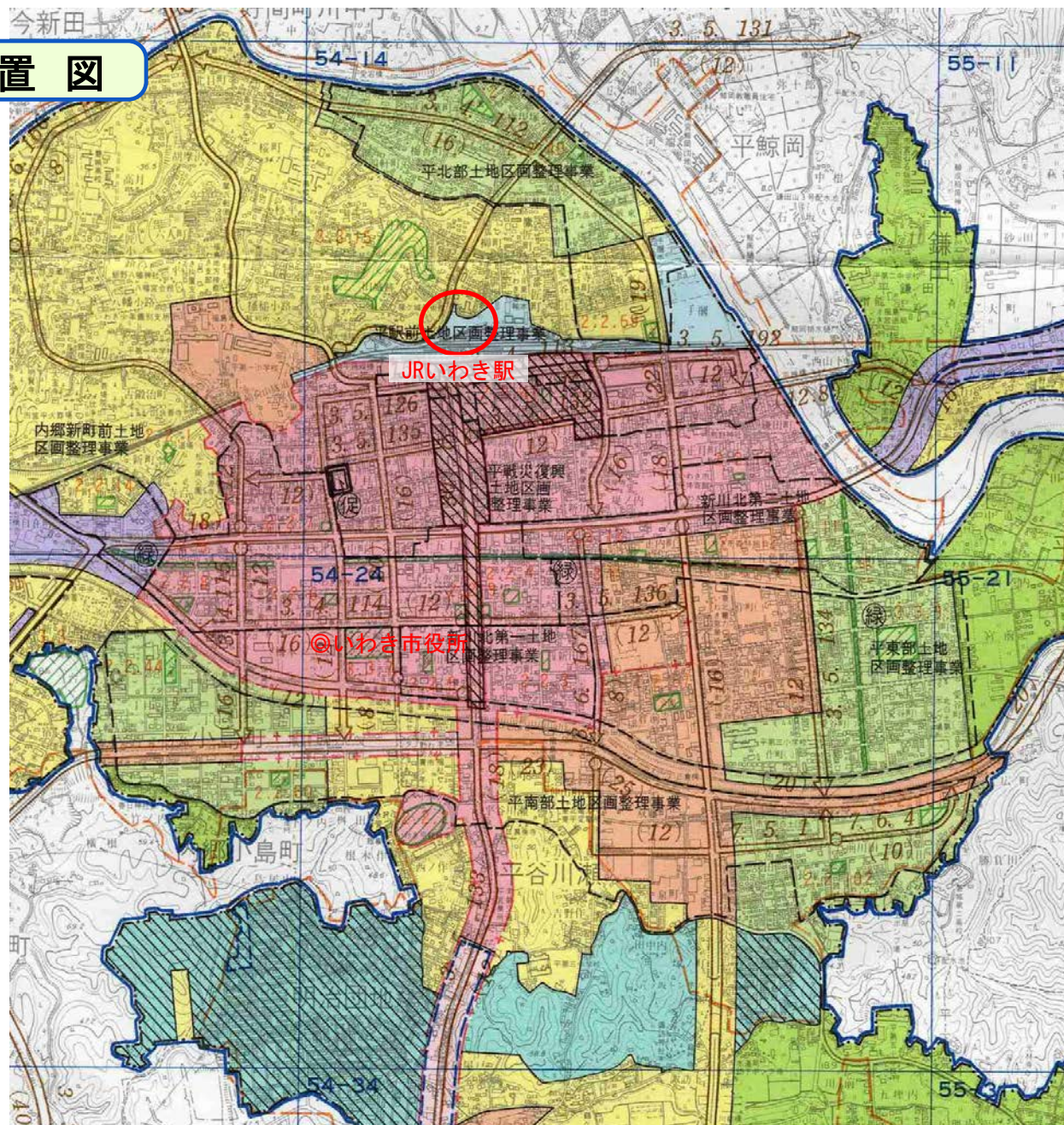


事業概要

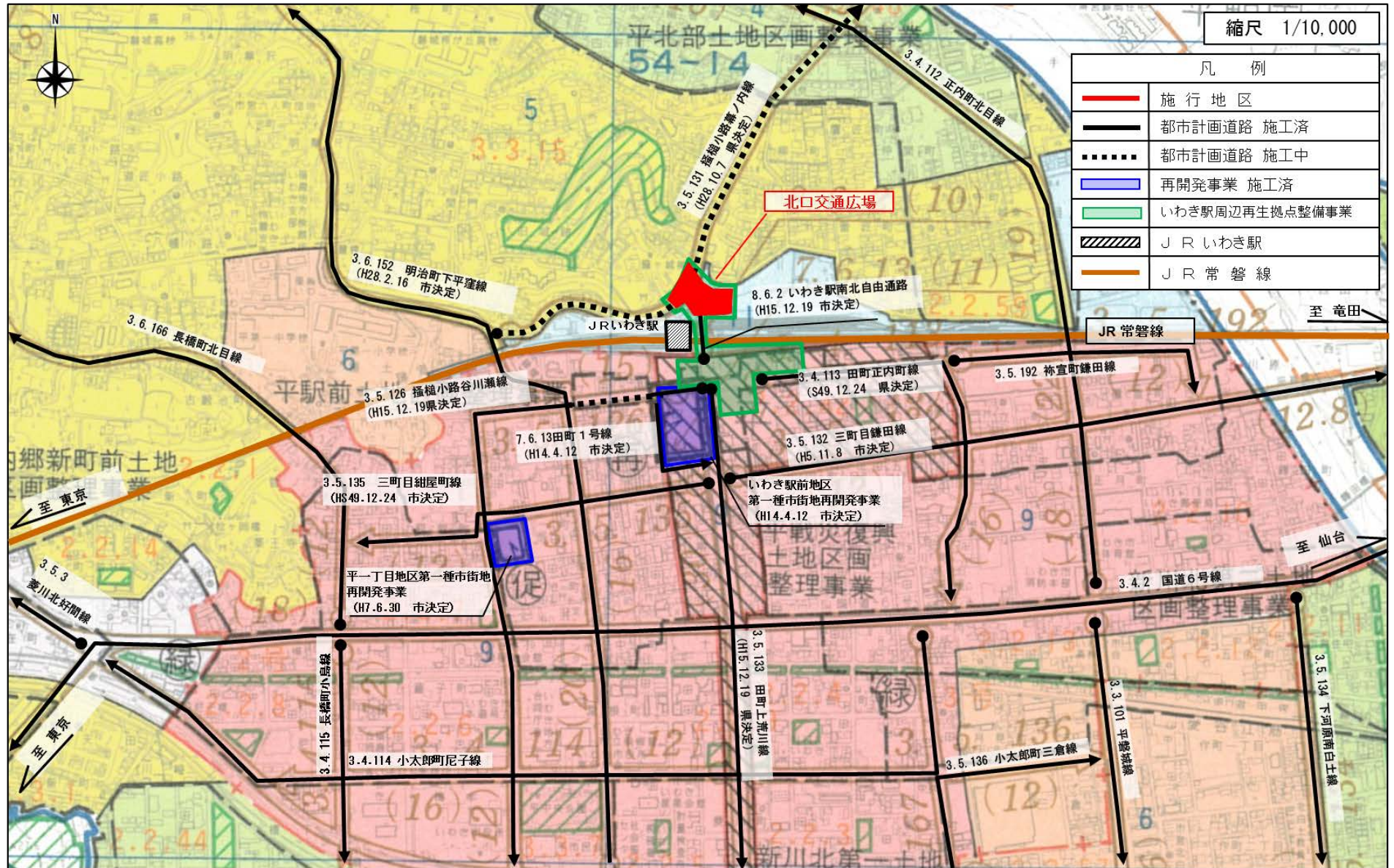
ふりがな 応募者名	いわきしとしけんせつぶとしふっこうすいしんか
ふりがな 事業の名称	いわきえきしゅうへんきよてんせいびじぎょう(きたぐちこうつうひろば) いわき駅周辺再生拠点整備事業(北口交通広場)
ふりがな 事業主体	いわきし いわき市
ふりがな 実施都市名	ふくしまけんいわきし 福島県いわき市
事業概要 (400字以内)	本事業は、本市の中心拠点であるいわき駅周辺地区において、本市の陸の玄関口として相応しい風格のある市街地の形成に向け、交通結節機能の強化、高齢化社会等に対応したバリアフリーの推進、魅力と潤いのある都市空間の創出、更には都市機能の集積誘導等を図るものである。 平成22年3月に供用を開始したいわき駅南口駅前広場、南北自由通路に続き、駅北側の交通結節機能の強化を図ることはもとより、本市の歴史的資産である磐城平城跡地に隣接する立地特性を生かし、「歴史が感じられる緑豊かな落ち着いたきのある空間」をコンセプトにした憩いの場となる北口交通広場を整備したものの。
事業規模	○面積: 約4,600㎡ ○事業期間: 平成21年度～平成27年度 ○事業費: 約1,760百万円
事業の目的	本事業は、本市の中心拠点であるいわき駅周辺地区において、本市の陸の玄関口として相応しい風格のある市街地の形成に向け、交通結節機能の強化、高齢化社会等に対応したバリアフリーの推進、魅力と潤いのある都市空間の創出、更には都市機能の集積誘導等を図るもの。
事業効果 (効果一覧を参考に 具体的な効果を記入)	【交通サービス水準の向上】 交通ターミナルとしてバス・タクシー各2台、自家用車3台の乗降スペースを整備するとともに、165台収容の駐輪場を整備したことにより、公共交通機関への円滑なアクセス経路を実現した。 【安全な歩行空間の確保】 広場内において、歩車道の境界部に縁石や車止めを設置することにより、安全な歩行空間を確保した。
地元対応等 (・地域住民との協働等 ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点)	広場整備にあたっては、都市計画素案作成の段階から、周辺商店会や周辺住民の皆様との意見交換会を開催するとともに、公募委員によるワークショップ活動や市民アンケートなどを通じて寄せられた意見等を基に、整備コンセプトを検討してきた結果、当広場が市の歴史的資産である磐城平城に隣接すること等から、「歴史が感じられる緑豊かな落ち着いたきのある空間」を整備コンセプトとした。

事業位置図



縮尺 1/20,000

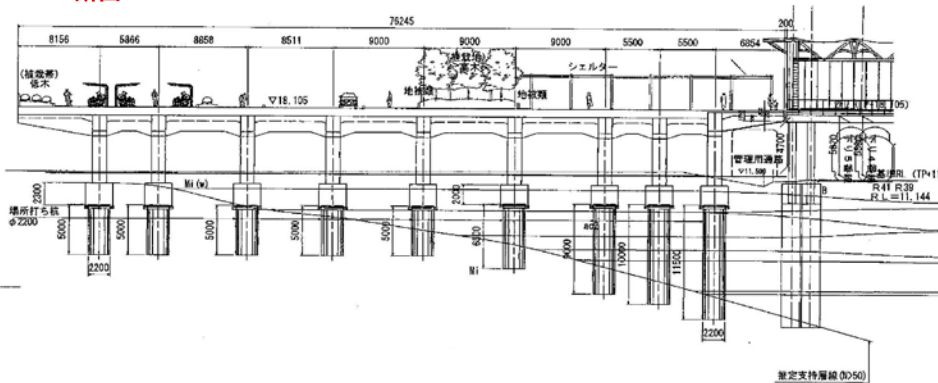
都市計画図(用途地域図)



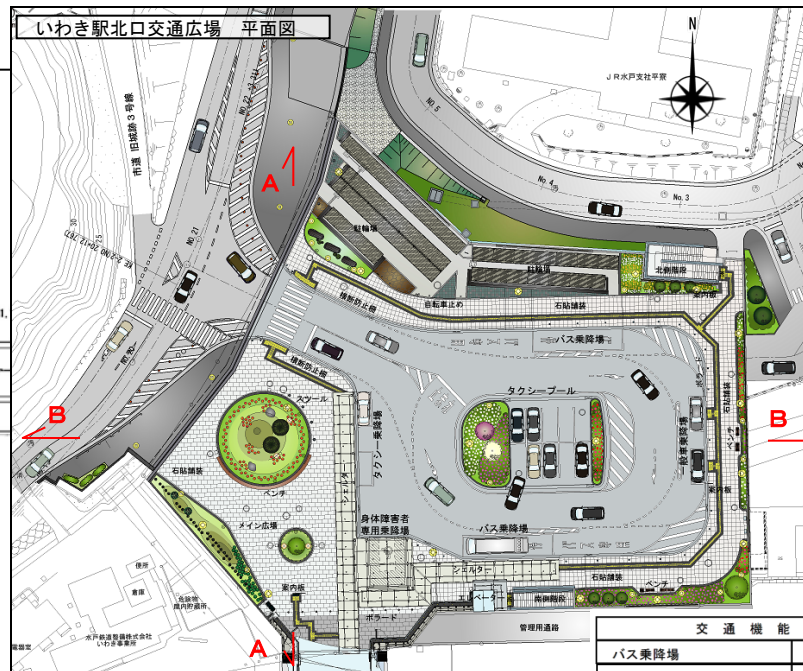
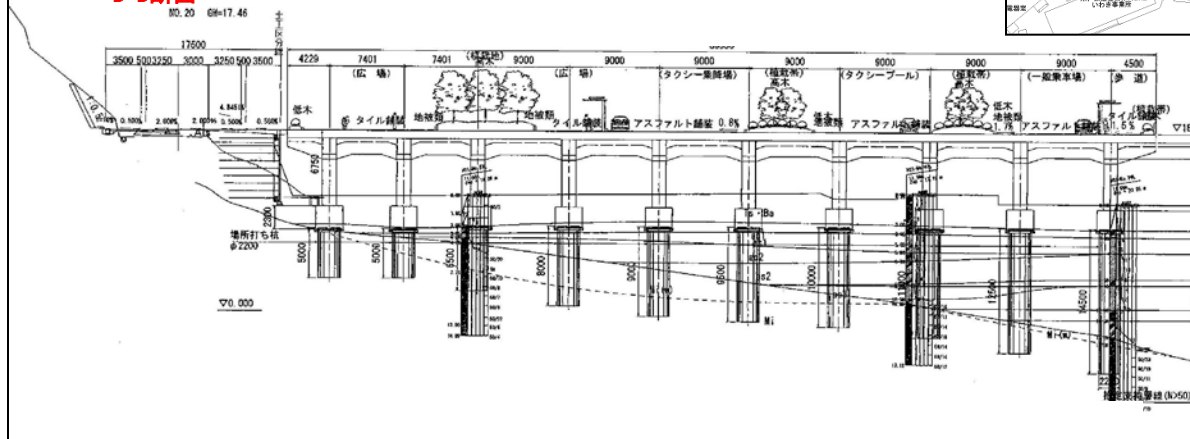
断面図

いわき駅北口交通広場 断面図

A-A断面



B-B断面



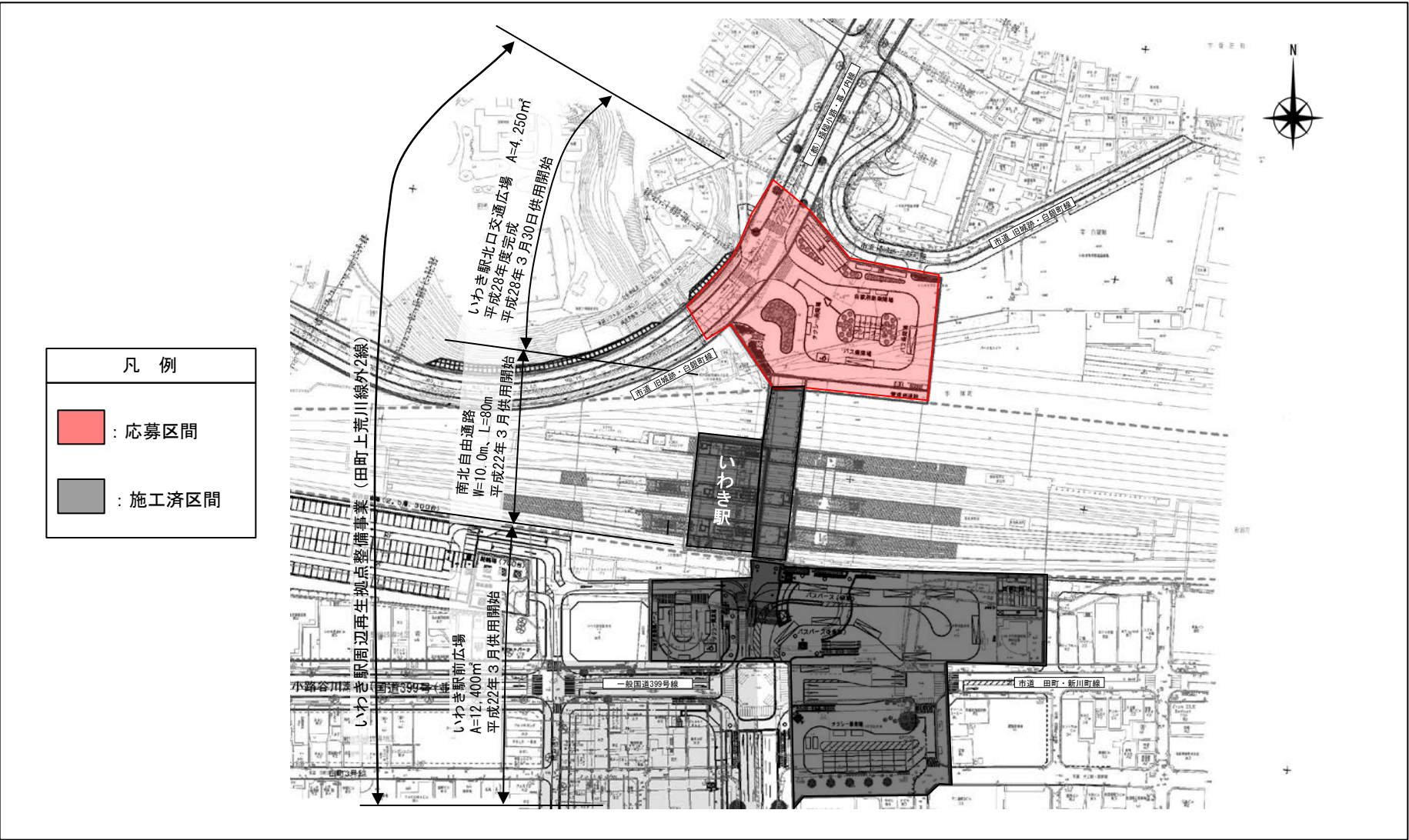
交通機能	
バス乗降場	2台
タクシー乗降場	2台
タクシープール	10台
一般乗降場	2台
身体障害者専用乗降場	1台
自転車駐輪場	165台
原動機付自転車駐車場	10台
エレベーター	1箇所
階段	2箇所
人工地盤面積	4,250m ²

設計条件

構造形式	上部工形式	RC連続立体ラーメン構造
基礎工形式	橋脚打ち杭φ2200	
施工面積	A=4250.4m ² (二階工事 A=2488.6m ²)	
支間長	L=9.000m (柱中心標準間隔)	
設計荷重	B活荷重	
舗装	車道部	平たわみ性舗装
	歩道部	平板ブロック舗装、自然石舗装
造景物		—
設計水平面度	レベル1	KR=0.25 (地域別補正係数: A地域、地盤種別: II種地盤)
	レベル2	動的解析 (I種地盤-タイプI、タイプII)
構造物の重要区分		B種の橋の重要度: 準拠
使用材料	上部工	コンクリート σck=24N/mm ²
		鉄筋 S3045
	基礎杭	コンクリート σck=24N/mm ² (呼び強度30)
		鉄筋 S3045
支持層		風化花崗
適用示方書		道路橋示方書-同解説 (I~V) 平成14年3月 日本道路協会

路線全体の進捗状況

縮尺 1/2,500



事業前写真



事業後写真



いわき駅北口交通広場の事業効果アピール資料

交通結節点機能の向上（バスバース・タクシープールの整備）

整備前は道路の路側でバス待ちをしていましたが、整備後は安全なバス乗り場で乗降が可能になりました。また、タクシープールも整備したことにより交通結節点の機能強化につながっております。



交通結節点機能の向上（駐車場の整備）

駅前広場の地下に駐車場を整備し、駅利用者の駐車及び送迎等の交通結節点の機能強化につながっております。



いわき駅北口交通広場の事業効果アピール資料

歩行者の増加

駅前広場を整備したことにより、利便性及び安全性が向上しました。結果、整備前と比較し歩行者が増加していました。

○交通量調査結果

調査時間：休日 24時間

整備前：平成21年6月14日（日）・・・911人

整備後：平成29年6月18日（日）・・・959人

48人
5%の増



イベント利用

北口広場は「歴史が感じられる緑豊かで落ち着きある空間」をコンセプトに整備したことにより、市民の憩いの場として機能。



竣工式（テープカット）



竣工式（園児によるステージ）



市の木クロマツの植栽

受賞歴・報道資料

平成28年3月30日
いわき民報

いわき駅 北口交通広場が供用開始

いわき平東ロータリークラブが時計贈る



【いわき市駅北口交通広場】
いわき市駅北口交通広場が3月30日、供用を開始した。いわき平東ロータリークラブが、広場に時計を贈った。時計は、ロータリークラブの会館にあり、時計の数字は、ロータリークラブのメンバーの氏名で埋められている。時計の贈呈式は、3月30日、いわき市駅北口交通広場の供用開始式典で、ロータリークラブのメンバーが、時計を贈った。時計の数字は、ロータリークラブのメンバーの氏名で埋められている。時計の贈呈式は、3月30日、いわき市駅北口交通広場の供用開始式典で、ロータリークラブのメンバーが、時計を贈った。



式典に花を添えた園児の踊り



北口交通広場に新設された時計の特景

平成28年4月1日
福島民報

供用開始のいわき駅北口広場 緑豊かな歴史漂う空間

3月30日に供用を開始した「Rいわき駅北口広場」は「歴史が感じられる緑豊かな落ち着いた空間」をコンセプトに整備した。施設の特徴や記念式典の様子を写真で紹介する。



式典終了後、梅香保育園児が元気にいっぱいステージを盛り上げた



【いわき市駅北口交通広場】
緑豊かな歴史漂う空間

平成28年3月31日福島民友

いわき駅北口に広場 市民の憩いの場完成祝う

いわき市が「Rいわき駅北口交通広場」を整備を進めてきた「いわき駅北口交通広場」が30日、完成した。新たに交通ターミナル機能を備え、市民の憩いの場として整備された。関係者らが祝賀の完成式を行った。同日、現地で竣工式が行われた。



【いわき市駅北口交通広場】
2000年（平成12年）から北口に整備を進めてきた「いわき駅北口交通広場」が30日、完成した。新たに交通ターミナル機能を備え、市民の憩いの場として整備された。関係者らが祝賀の完成式を行った。同日、現地で竣工式が行われた。

平成28年3月31日
福島民報

いわきの「玄関」新しく 駅北口広場供用開始

いわき市が駅北口交通広場を整備を進めてきた「Rいわき駅北口交通広場」が3月30日、供用を開始した。現場では、市民の憩いの場としての歴史が感じられる緑豊かな空間をコンセプトに整備した。施設の特徴や記念式典の様子を写真で紹介する。



式典終了後、梅香保育園児が元気にいっぱいステージを盛り上げた

平成28年4月1日
福島民友



磐城平城イメージ

いわき駅北口交通広場



かわいらしいお遊戯で花を添えた梅香保育園児